

防災意識を高めるために！！



～中央町第17回防災訓練～

猛暑日となった5月26日（日）に中央町のウエタケ駐車場において17回目となる防災訓練が行われました。この日の参加者は33名。

訓練の手順として、避難して来た人はまずテントで受付を済ませ、避難所に到着したことを示します。役員と民生委員は町内を回り、逃げ遅れている人がいないか確認をします。

全員受付を済ませた後に消防署員と消防団員の指導により消火器、担架での搬送、心臓マッサージ、AED使用法の各訓練が行われました。熱中症にならないように手際よく行い、ほぼ全員が各訓練を体験することができ、防災への意識を高めることができたようです。「いざという時に行動できるようにするためには、何度も繰り返し訓練をすることが大切。」と城下自治会長は話していました。隣近所の住民がお互い協力して助け合うことで安心して暮らせる町となりますね！！



玄関に掲げて無事を知らせる

誘導班と情報班による受付。
自分の班のケースから自分のカードを取り出し提出します。



搬送訓練



消火器訓練



AED 使用訓練



給食班による
うどん作り

心臓マッサージ訓練



那須塩原市社会福祉協議会



令和元年6月作成